

令和7年8月26日開催 定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和7年8月26日（火）午後1時30分から午後2時50分

開催会場 美祢市役所3階「301会議室」

出席者	南 順子	教育長	
出席委員	金子 明美	教育長職務代理者	
	松本 孝志	委員	
	井上 敏雄	委員	
	谷岡奈美子	委員	4人
欠席委員			なし

出席教育委員会事務局職員	田中 美香	事務局教育総務課長	
	中島 幹晃	〃 学校教育課長	
	野村 一守	〃 生涯学習スポーツ推進課長	
	神田 高宏	〃 文化財保護課長及び世界ジオパーク推進課長	
	渡壁 誠	〃 学校教育課主幹	
	五ヶ山雅貴	〃 生涯学習スポーツ推進課人権教育班長	
	倉増 裕	〃 教育総務課総務班長	7人

（午後1時30分）

1 開会

教育総務課長 田中 美香

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

8月の定例教育委員会会議を始めたいと思います。

では、教育長お願いします。

教育長挨拶

教育長 南 順子

あらためまして、皆様こんにちは。

記録的な猛暑の続いた夏休みが終わり、昨日から二学期が始まりました。

幸い、命に係わる大きな事故やケガもなく、市内小・中学生合わせて 988 人が、無事、本当に厳しい暑さの夏休みを乗り越えたことを何より嬉しく思います。

しかし、早朝や夜半は少し気温が下がり、しのぎやすくなったものの、日中の暑さは、まだまだ危険な状態です。特に、夏休み中は、冷房のきいた快適な状態で過ごしていた子ども達にとって、下校時の暑さ対策は、喫緊の課題です。直射日光が当たると、夏場の路面温度は、50 度から 60 度になるそうですが、街路樹で遮ると、約 20 度温度が下がるといわれています。下校時には、水分補給はもちろんのこと、日傘や保冷グッズの効果的な活用と同時に、安全面に配慮しながら、できるだけ木陰を通ったり、木陰でひと休みをしたり、あるいは、体調がすぐれない時は「子ども 100 番の家」を利用する等、子ども達自身が自分の命は自分で守るのだと意識した行動がとれるよう、様々な知恵を出し合い、対策を考えていきたいと思います。子ども達を守るためには、今までの常識にとらわれない実態に即した新たな方策等も考えていくべき時期に来ているように思います。

また、教育委員の皆様方からも御意見やお気づきがありましたら、ぜひお伺いして、対処していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、今年の夏は、改めて命の重さや尊さ、平和のありがたさについて考えさせられた節目の年でした。

まずは、戦後 80 年を迎え、戦争を体験された方の高齢化により戦争の残酷さ、悲惨さを語り継ぐ方が少なくなり、凄惨な戦争の記憶が薄れゆくことへの危惧と、安心や安全が最優先された穏やかな日常や平和がどんなに貴重でかけ替えのないものであるかを改めて考えさせられました。

310 万人もの尊い命が奪われた先の戦争では、海外で亡くなったとされる 240 万人のうち、戦後 80 年もたちながら、112 万人の遺骨が、まだ、遺族の元に返っていないといわれています。

特に、太平洋戦争の激戦地であったパラオ諸島のペリリュー島では、今も遺骨の収集作業が続き、昨年、大規模な日本兵の集団埋葬地が見つかったそうです。

また、原子爆弾の悲惨さは言うまでもなく、人類史上初めて原爆が落とされた広島や長崎は、地獄の苦しみを現実のものとし、一瞬にして命を奪われた方々の無念さはもちろんのこと、被爆者として、80 年たった今もお、苦しんでおられる方がいらっしゃるという現実を忘れてはならないと思います。

それに、生死の極限の中、やっと日本に返ってこられた方も戦場での過酷な体験が、精神を苦しめ、戦争 PTSD を患った方が多くいらっしゃると思います。

今年の 8 月 6 日、広島原爆の日に「平和の誓い」を朗読した佐々木駿さんと

関口智恵璃さんが「どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り次いでいく使命が私達にはあります。One Voice たとえひとつの声でも学んだ事実の思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけでなく、子どもである私達も平和のために行動することができます。」と述べられました。佐々木駿さんは得意な英語を活かし、平和公園で、英語のボランティアガイドもされているそうです。

特に、学校教育の中で、子ども達に、戦争はその時だけ傷つくのではない。心の傷は一生残り、戦争は人間としての尊厳を破壊するものであること。また、戦争は、地震や津波と違って、完全に人災であり、防ぐ手段があること。そのためには何が必要かを共に考え、伝えていかななくてはならないと思います。

今もなお、世界に目を向ければ、ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ、インドとパキスタン等、悲惨な戦争が続いています。

特に、ガザで起きている飢餓の状況は、多くのこども達の命を奪い、最悪の健康状態を招いており、一刻も早く、争いが終わることを願わずにはいられません。

話が長くなって恐縮ですが、今から、40年前の1985年8月15日に起きた日航機墜落事故では、520人の尊い命が奪われ、単独機の事故としては、航空史上の最悪の犠牲者数を出す大惨事となりました。40年前、テレビで、4名の生存者のうちの一人、中学生の川上慶子さんがヘリコプターで救出されている映像を見て、あの惨状の中、重傷を負い、激痛と恐怖に耐え、よく生き抜いておられたと思うと、胸が詰まって涙がとまらなかったのを、今でも鮮明に覚えています。

事故現場の御巢鷹の尾根には、毎年遺族以外にも日本航空の関係者や公共交通機関の職員、市民が訪れ、今では、犠牲者への追悼と命の重さを発信し、空の安全への誓いを願う「聖地」となっているそうです。

昨年、2024年1月2日の海上保安庁機と日航機が羽田空港滑走路上で衝突炎上した事故で、乗員の適切な対応で、燃える機体から乗客367人全員が脱出できたのも、客室乗務員がドアの数だけ配置されていたことが、事故の大きな教訓として生かされていたそうです。

空の安全にとっては、今、戦争が現実の脅威となっており、平和な空の安全を守るためにも、戦争のない平和な世界を願いたいものです。

それでは、以後、着座にて進めさせていただきます。

2 署名委員

教育長 南 順子

初め、に署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては、松本委員と金子委員にお願いいたします。

<両名了承>

3 前回会議録の承認

教育長 南 順子

前回会議の承認につきましては、井上委員と松本委員にお願いいたします。

<両名承認>

4 教育長報告

(1)行事関係

教育長 南 順子

次に行事関係について報告いたします。

お手元の資料をご覧ください。

8月18日、ふるさと交流大使委嘱状交付式で、4人目のふるさと交流大使になるプロレスラーの岩谷麻優さんに委嘱状が渡されました。

初めて岩谷さんに会ったのですが、とてもかわいい、本当にチャーミングな方で、この方がプロレスをと思いました。すてきな笑顔の岩谷さんに、いろいろお話を伺いましたが、ある方が「プロレスというのは大変な競技だけど、なぜ、続けておられるのか。」とおたずねになった時、「やっぱりプロレスが好きだから」とおっしゃっていました。私も「何か信条にされている言葉がありますか。」と尋ねましたら、「何とかなる」というという想いだとおっしゃいました。

詳しいことはよく知らないのですが、ひきこもり等大変な辛い体験もされたと伺っています。それを乗り越えて、本当に今、こうやって活躍されているということ。大嶺小、大嶺中のご出身ということですので、こども達にも、何らかの機会に、例えば、講演会等で岩谷さんとの接点をもち、交流ができればいいなというふうに考えております。

それから、8月20日に市教育委員会教育長協議会というのがございました。

ここではいろいろ指導を受けたのですが、やはり今の生成AIの活用に関する共有ということで、スタディポケットなアプリの活用の参考としてぜひご覧くださいってということで、生徒が生成AI学習アシスタントアプリと数学の問題にチャレンジしている動画とか、或いはある程度生成AI学習アシスタントアプリを使った制度が語る動画とかというものを、これがあるそうですのでぜひまた教育委員の皆さんもご覧になられてですね、生成AIの取り組みについての、ご理解等をお願いできたらというふうに思います。

そのあとまた今、山口プライドの今、情勢ということで、いろいろ取り組みをしていますがそのことについてももしっかり取り組みたいということ。

それから今、非常に問題になっておりますSNSによる児童生徒との連絡による私的カウントの使用禁止等についてこれはもう、学校の方でも、各学校には配布等していますが、そういった使用制限といいますか、そういったものも、新たに設けられたということでまたこれは後日、教育委員の皆様方にも詳しくお伝えしたいと思います。

生成AIにつきましては、これは、東京大学の教授によってAIの技術でモノクロ写真をカラー化したものです。太平洋戦争末期の1945年5月26日、特攻隊の皆さんが突撃に出る前日に写された写真を、AIを使ったらこれほど鮮明に再生できるということです。ここに、本当にかわいい生まれたばかりの子犬を触ってらっしゃる。生きておられた最後の写真ということで、ご家族の方が見られたらどんな思いを持たれるかなと胸が詰まります。最新のAI技術が、このように活用されて一つの例として、読売中高生新聞の前面を飾っていることを紹介させていただきました。

また、生成AIについては、皆さんもご覧になられたかもしれませんが、3日ぐらい前でしたか、NHKのニュースを見ていたら、亡くなった方の声とか性格とかいろいろな情報をAIに覚えさせると、亡くなった方と会話ができるとか、あるいは、20年前、中学生ぐらいの時に、亡くなったお子さんの情報をAIに記憶させると、その方が20年後、生きていたとして36歳ぐらいになった姿が再生できるということも紹介されていました。

これらは、もちろん倫理上の問題が非常に大事になってきますけれども、この生成AIは、うまく活用すると非常に有効な手だてになると感じました。ある新聞の座標軸というところに出ていましたけれども、今月ChatGPTの最新版が開発されたそうです。その性能は、博士号を持つ専門家があらゆる分野で手伝ってくれるようなものということで、日々高性能化が進んでおります。

これをいかに教育の中に取り組んでいくかということについては、こどもたちの考える力等も育てながら、有効に効果的に使う方法を探っていけたらと考えています。というのを、またいろいろ、支援をしていけたらと考えております。

以上、簡単でございますが、行事関係の報告を終わります。何か教育委員さんの皆様方からご質問とかご意見等がありましたら、お願いできたらと思います。

5 報告・議案

教育長 南 順子

それでは、議案に移らせていただきます。

初めてだと思いますが、議案の欄が空白になっておりましたけれども、実は本日、お配りした資料がお手元にあるかと思います。

資料をご覧になってくださいませ。

本日配付しました議案第61号、令和7年度美祢市教育委員会事務局人事異動について、教育総務課、田中課長お願いいたします。

教育総務課 田中 美香

本日お配りしました議案でございます。

令和7年度9月1日付けの美祢市教育委員会事務局職員の人事異動について承認を求めるものです。

この度の人事異動は教育委員会事務局内での異動となるものが1名でございます。

以上です。

教育長 南 順子

それでは、今の説明につきまして何かご質問等があればお願いいたします。
よろしいでしょうか。

教育長 南 順子

質疑等がありませんので、お諮りしたいと思います。

議案第61号、令和7年度美祢市教育委員会事務局人事異動について、ご承認いただけます方は、挙手をお願いできたらと思います。

<全員挙手>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございます。

全員賛成ということで、ご承認いただきました。

教育長 南 順子

6 協議報告等

それでは続きまして、今度は協議報告ということで、各課からの報告をお願いできたらと思います。

教育総務課、お願いいたします。

教育総務課長 田中 美香

教育総務課からは寄付金の受領について、ご報告をいたします。

市民の方から寄付の申し出をいただき、8月7日木曜日に本庁2階応接室にて、市長が寄付金を受領されております。

美祢市の教育のために使っていただきたいということで、受領の席には、南

教育長、千々松局長も同席をしております。

寄付者のご意向に沿うように用途を検討しているところですが、今後12月議会において補正予算として、歳入、歳出ともに計上する予定としております。以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

今、説明がございましたが、実は、この寄付者についてはご本人の意向で、名前を伏せて欲しいとのこと。今、課長の方が名前を伏せましたけれども、本当に毎年教育のために、多額の寄付をいただいておりますことを、付け加えさせていただきます。

今の件については、よろしいでしょうか。

それでは、学校教育課、お願いいたします。

学校教育課長 中島 幹晃

失礼いたします。

学校の様子ということで、明後日、教職員のジオパーク研修をいたします。8月の行事予定表の明後日28日木曜日のところに、教職員ジオパーク研修、秋吉台他13時30分からと書いてございますけれども、ジオ課の全面的なバックアップ協力をいただいて、市外から着任された先生方が多いので、美祢市が誇るジオパーク、それから世界ジオパークに向けて、先生方の理解を持っていただきたいということで、ジオパーク研修を復活させました。

コロナ前までは、ジオパークに限定せずに市内をぐるりと回る研修がありましたけれども、ジオに特化したもので、半日ですので、赤・白・黒全部回れないので、2回に分けて実施しようと思っております。マイクロバス1台、約23、4名ぐらいのメンバーで、市内の研修をいたしますので、お知らせをいたします。

学校の様子については、以上ですけれども、引き続きまして、2番の全国学力学習状況調査の文科の方の正式な数値が出ましたので、概要をお知らせできたらと思っております。これは、資料を別につけておりますので、クリップで止めてあるものをご覧ください。

1枚目の上の表が小学校国語・算数・理科、下が中学校の国語・数学・理科になります。

ご覧になってのとおりの右側にあります。

昨年度に比べれば、小中ともに上向いていますが、依然、小学校については、国語、算数、理科とも、県平均とより低いという状況がございますので、引き続き、水準を確保するというのを1つの目標にして、市内全体であれば、まだ100人以上のこども達がいるので、そこを平均したときには、県平均1つの基準として、数字だけを追っかけるのではなく、日頃、学校全体で一生懸命取り組んでいる教育活動の結果として、数値もきちっと残すというふうに引き続き

取り組んでいきたいと思っております。中学校の方については、国語については、プラスに転じております。

この学年の昨年の10月と比べると、県平均と比べて10ポイントぐらい伸びています。そして、プラスに転じたということです。数学の方も、まだマイナス2ポイントではあるのですが、10月よりは伸びている。中学校については、明らかな伸びが見られたという結果が出ております。

これまで小中連携して、こども主体の授業づくり、こどもを主語にしたこどもの意欲をどんどん引き出していこうと。受け身ではなく、こどもがやる気を持って、今日は自分なりに、ここはできた。ここはわからなかったというお客さんをつくらない。そういうような授業に、全市を挙げて取り組んでいます。

小学校の時に、そういうふうな素地が自由進度学習等取り入れてもらったことででき、中学校でも、きちっと引き継がれば確実に伸びてくる、ある程度成果が出てきているというふうに感じています。

下の方は、文書で成果と課題を書いているのですが、ちょっと具体的な問題を見ないと抽象的すぎるので、開いていただきまして、正答率の悪かったものを挙げております。

例えば、この小学校の国語の問題、これは、「この右側の手ぬぐいのチラシの説明としてふさわしいのは、 $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$ どれですか。」という問題です。

詳しく見なくても、大きく手ぬぐいを書いてありまして、良さ1模様、良さ2使い方と書いてあってですね。もう答えを大人から見ると、これは、2番かなと解るのですが。伝えたいことの中心を明確にして内容のまとまりごとに分けて書いているなと解るのですが、こどもたちはやっぱり、3番の原因と結果とか、真ん中辺に書いてありますよね。4番の使い方の手順に沿ってとかですね。何かこう、最もらしい答えが書いてあるところに引っ張られて、3番、4番を選んで間違えているというのは、これは、そんなにこう当てずっぽうで書いてあるというよりも、全学調で聞かれるのだから、やっぱり難しい答えをとというふうに思って、一生懸命考えた結果かなというちょっとプラスにもとってはいるのですけれども。やはり、自信を持って読み取る根拠を自分の中に持って読むっていうところが低かったです。

県平均と比べてマイナス8ポイントぐらい低かったということです。

それから、右側も、これは、どの問題が一番間違いが多かったかっていうと、一番を選んだ、ここが一番間違いが多かったですね。

10%増量っていうのが0.1だっていうことはわかっていて1だと思って、一番0.1を選んで、結局、10%増量の元の、10を足してないっていうところですね。

単純に10%増量なのでよくわかんないから3番という子もありましたけれど、結果的にマイナス13ポイントいうところでした。

めくっていただいて、理科は図がございまして、この太い丸がついて黒丸がついているカのところに、図右下の $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$ のどれが入るかっていう問題なのですが、見るからに面倒くさいですよ。

線で繋がれている矢印の方向を確認して、右下に学習したこと水は冷えると0℃で氷に変わるとか書いて、そこからの因果関係を考えて、力には何が入るのかなっていうので、結局2番の海の氷は平均気温が高くなると、できにくくなるっていう当たり前のことが入るのですけれど、ここの言葉は全然難しくないのですけれど、その因果関係と関係性を読み解く段階でもう面倒くさくなっちゃうという、その辺りがやはり自分の頭で日頃から考えて粘り強く学ぶというあたりですね。そのあたりでマイナス11ポイント。

後半を中学校なのでちょっと文章量も多くなるので、解説は詳しくいたしません、めくっていただいて、数学の一番に出てくる素数を選びなさいっていう問題がマイナス、13ポイントという極端に悪かったんですね。これは本当に思考判断というよりも知識の問題かと思ひまして。

これは、1を入れてはいけないという、ちょっともう我々忘れておりますが、1を入れずに2、3、5、7を選ばないといけないんですが、その辺の知識が曖昧で、そういったところを参考に載せておりますので、見ていただきまして、引き続き、この調査結果を受けた美祢市の課題と取り組みについてをつけておりますが、大きい2番で、全学調以降の取り組みということで、5月・6月と進めております特に6月の真ん中あたりに書いておるのですが、市内の学校の特色ある取り組みの紹介による横展開改善の具体像を持ち帰れるように工夫とあるのですが、これはかなり進んできたと思っています。

例えば、秋芳桂花小学校が、こどもたちに全学調の自己分析をさせて、今度10月にまた県での一斉調査があるので、そこに向けて、自分はどういう目標を立てようか。先生ではなくて、こどもたちが自分の結果を分析して、自分で目標を立てるといような良い取り組みを、桂花がされていまして、校長会でそれを紹介したところ、取り入れる学校が複数あって、そういう横展開が増えている。

それから、美東中学校の校長先生がやっぱり非常に右肩上がりの成果が出たということで、こどもの表現力、総合的な学習の時間でも、ビデオを見ていただきましたように、いろいろな国語や数学の力を応用して、英語の力も応用して東大寺で発表するとかですね、そういうことでどんどんしゃべらせるこどもたちに、考えて結局アウトプットさせることを、しっかりして、授業でも自由進度学習的なことをしっかり入れていく、そういうようなことで総合力が身についてきて、学力が伸びましたという発表を校長会でしていただいて、ぜひ、うちの小中合同教職員研修会で、講師として来てお話してくださいということで、2校ぐらい講師で回られたとか、そういう横展開でいいものが、うちもそこは取り入れようということで、市内全体として、取り組みのレベルが上がってきているというふうには思います。

ただ、まだまだ課題はございますので、指導主事がしっかり学校に入って、今後も指導していこうと思っています。

最後に、「児童生徒質問紙の結果より」という資料をつけております。

これは全学調の調査と別に生徒質問アンケートが大量のアンケートがあるのですが、今年度はですね、プラスの成果がかなり出ていると思いました。

小学校の上の方、国語の授業で先生は良いところ、前よりできるようになったところを伝えてくれますが、県平均より20ポイント高いとか、地域や社会をより良くするために何かしたい、してみたいと思いますが17ポイント高いとかですね、授業や学校生活や友達周りの人の考えを大切にする協力しながら、課題解決に取り組んでいます、14ポイント高いとかですね。

3つ下の先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますがプラス9ポイント高いとかですね。

課題も当然あるのですが、1時間以上勉強している児童の割合は低いとかですね、ございますが、先生方のサポート、目配せ、声かけ、このあたりが行き届いてきている。

これが、中学校の方も同様に、2番目、先生はあなたのよいところ認めてくれていると思いますが、プラス12で、先生は授業やテストで間違えたところを理解してないところについてわかるまで教えてくれていると思いますが、プラス12とか、学校に行くのは楽しいがプラス10とかですね、普段の生活の中で幸せな気持ちになることはありますかプラス8とかですね、このあたり、こどもを主語にして生徒主体のっていう、自分たちの生活を自分たちで考えて、協力して良くしていこうっていう。

先生方の指導方針が、浸透、こどもたちにも影響を与えている。やっぱり学力の数値の方にも、やがて反映してくると思うのですが意図的に我々教育委員会がそこはですね、しっかり学校と協力して数値にはね返っていくように、今後、授業改善、それから学び直しを全校体制で行って、学び直しをしているこどもたちが、こんなところでつまずいているのかというのを改めて先生方が認識して授業改善につなげるっていう、そういうサイクルを支援していきたいというふうに思います。

またご指導いただいたらと思います以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

今、学校教育課の方から、学校のそしてまた令和7年度の全国学力学習状況調査結果について説明がございましたが、何か教育委員の皆様がたの方からお気づきとか、またお尋ね、ご意見ご感想等ありましたらお願いいたします。

すみません当事者でじっくりご覧になる間もなくご意見をというのは大変失礼とは存じますが、でも本当に去年はちょっと腰が抜けるほど低くて、撃沈でございましたが、それともう絡みられて、また普段学校参加していただいております訪問していただいておりますが、そういったところも含めて何かこう、ご意見等がありましたらぜひお伺いし、できたらと思います。

井上委員、お願いいたします。

委員 井上 敏雄

調査の内容をずっとさっきから読んでいますのですけれども、今ご報告のあったように明らかな伸びが、昨年度と比べて結果として見られるかなと思います。

全体的には授業改善を含めて良い方向に向かっているのだと思うのですが、1学期に学校訪問とかに行ったときに、あんまりそれが実感できないというかまだ半数ですけれども全般的にはいい方向へ向かっているのだと思うのですが、あとは個別っていうか学校別数でやはりちょっと差があるのだと思うので、その辺の分析っていうか対応も必要なのかなと思います。

学校教育課長 中島 幹晃

ありがとうございます。

本当おっしゃるとおりで、まだ後半の学校訪問のときに、そういう姿が見られるようですね。

期待しておりますし、指導して参ります。

教育長 南 順子

小学校の各校のは、ちょっとまだここに載せておりませんが、小学校の国語だったのですけれども、大体、県平均がここにありますように、小学校68ですね、美祢市が64ということですが、大体60以上は取っていたのですが、ある学校が50点台なのです。

国語、算数も極端に、極端にちょっと低かったので、他の学校は頑張ってくれていたのも、もっとそこが上がれば、県平均にかなり届くのじゃないかと思ったのですけれども。

だからこれは先ほど、井上教育委員さんがおっしゃいましたように、学校別できちんと分析をして、原因とか、どういう今後取り組みをしていけばいいのかっていうのは、やっぱりそのところは丁寧にしていかないと、これはあくまでも平均ということですので、しっかりそのところは今後対応していけたらというふうに思っております。

ただ課長がさっき申しあげましたように、いろいろ質問紙の結果については各学校をよく頑張ってください、こどもたちに随分寄り添って、対応していただいているということが結果としてこどもたち自身がそれを実感できているということは大変ありがたいと思いますし、各学校のそれぞれのよさの取り組みが横展開ということで広がっていくようにまた今後も努めていけたらと思います。

委員 井上 敏雄

その学校の理由とか、何か予測は立っていますか。

教育長 南 順子

今のところですね、予測はちょっとそうですね、確かにすみません。

確かにすごく国語と算数が、極端に低かった。

去年も非常に低かったのですね、ただ授業等見ても、何か学校教育課の方から、確か極端に学校別で低かった。

学校教育課長 中島 幹晃

そうですね。

算数はほかに悪いところもあるが、国語は極端に悪かった。

教育長 南 順子

私も何だろうと今何か予想って言われると、ちょっとすみません。

結果が出たのでとにかく学校に関して学校でもしっかりと、その辺のところは分析をしてもらいたいというふうに思っております。

何か他のことでもありましたら。

ざっと日を通していただいた感想とかでも構いませんが、もしありましたらお願いできたら。

金子委員、お願いいたします。

教育長職務代理者 金子 明美

先ほどありましたように、昨年度よりもアップということで本当に全体的に頑張っておられるなっていうのが伝わってきました。

それから質問紙も大変嬉しい結果だったなというふうに思います。

特に学校に行くことが楽しいっていう返答、それから、やはりいろんなことを助け合っているっていうふうな本当なかなか難しい状況の中で、そういう思いが子どもたちの中にあるっていうのはとても嬉しいなというふうに思いました。

先ほど学校別の、格差といいますかそういうものを、少しでも近づける形っていうふうな話がありましたが、それと同時に、先ほど学び直しというふうにありましたけれども、ここですよね、子どもたちの、やっぱり美祢市は少人数っていうそういう良いところを生かして、ここにも焦点を当てて、学び直しを今されていると思うのですけれども。

それもととても大切にしていだけたら、この水準が伸びて、学校全体にというふうな広がりが出てくるのではないかなあというふうなことを思いました。
以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

一人一人の子についてですね、しっかりと学力を見て、そして少しでも伸び

るように努めていけたらと思う。

ごめんなさい。目がちょっとあってしまいますが、何か、はい。

委員 谷岡 奈美子

ちょっと私のこどものことなのですが、すぐ結構面倒っていうのはすぐ言っていて、先ほどの言われていた氷の、オホーツク海の交流の問題もちょっと読み解くのが面倒と言う感じが凄くする問題だなというのを私も見ていて思ったのですが、あと、すぐ諦めてしまうというか、そういうところがちょっと、私のこどもの話なので全体の話にはならないのですが、ちょっとあるのかなと思いました。

特に漢字とかも書くのがすごく苦手で。

何ていうか、そのあたりをどうにかしていただきたいなと思っているのですが、なかなかちょっと家庭で見るのが難しくて、難しいなと思っています。以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

本当になんかこどもたちの様子、面倒くさいと出てしまうのですね。

だからじっくりと読んでいけば、粘り強く取り組めば、もうちょっとと思うんですけどやっぱりそこがですねなかなかだから本当に理解できているのかというよりもやっぱりこの問題をしっかりと読み取れる。

やっぱその力っていうのも結構、学力って今それは学力ってば学力なのですが、やっぱりそのあたりも本当ぜひ対応していけたらと思います。

教育長 南 順子

すみません。

もう全員にお願いして。

委員 松本 孝志

今、言われましたけど僕も今オホーツク海の分を読んでいたんですけど、これって選ぶようになっていきますけど。

全部を見て、全部を考えていかないと「力」はどれになるかっちゃうのはなかなか難しいですね。

これ「力」だけを一生懸命あれだけで考えていたらおそらく間違えるだろうなど。

考えるとなんかこどもたちって、直感的にぱっと浮かんだら、その答えを書いてしますところがあって本当に全部を見てじっくり考えてっていうところが、足らんのかなあという感じはするのですよね。

その辺が何か課題なのかなあと、こども達を見とってぱっと言われてパッ

と答えようというか、そういうのはすごい反応はいいのですけど。

本当にじっくり考えているのかなあとというところに疑問があるので、こういう問題はなかなか難しいのだろうなと思いました。

教育長 南 順子

わかりました。

よろしいですかすみません。

学校教育課長 中島 幹晃

本当にご指摘のところ、学校現場とも共有してやっぱりキュビナなんかはですね、もう1問1答で4つのうち1つ選んで丸とかですね。

それで慣れてしまうと、マルかバツかっていうのはいいのですけど、ちょっと複雑な思考になると、段階を追って論理的に考えると、そんなに難しいことを問われてないんだけど、その成功体験と、そういう問題を分散して、一つ一つ解いていけば、小さい問題を1つの階段を上っていけば、たどり着くのだっていう経験ですよ。

だからいっぺんに10を解こうとせずに3、3、3でいけば、そんなに難しい敵じゃないっていう。3つに分解してやっつけていけば、倒せるとかいう、そういうことの経験とか、そういう考え方のある子はやっぱり諦めずにできる。そういう積み重ねが必要だと思うのですよね。

ですから学校には、教えたつもりで終わらせないようにということは指導していますので子ども達が自力解決できるところまで見届けて、この結果が返ってきたときに教えたのですけどねって言われる先生がおられるのですけど、教えることができるは違いますということで、子どもたちが自力解決できるそういうスキルとか、やっぱり経験を積ませて、そこを乗り越えるための考え方もできるってところまで伴走支援していく。

そういうことを丁寧にやっていいといけないかなと思いますので、ありがとうございます。

教育長 南 順子

いろいろ貴重なご意見ありがとうございました。

他に今の学力の関係で構いませんが、ご意見等がありましたらお願いできたらと思いますがよろしいでしょうか。

またこれはこれからの2学期からの学校訪問そしてまた今後の教育委員会会議でも話題にさせていただいて、またぜひ美祢市の子どもたちの学力の向上につけて、いろいろ、取り組んでいけたらと思いますのでよろしくお願いできたらと思います。

はい。

それでは次の生涯学習スポーツ推進課minetoこどもキャンプについて実施

報告の方お願いいたします。

生涯学習スポーツ推進課人権教育班長 五ヶ山 雅貴

それでは、令和7年度、minetoこどもキャンプについての報告をさせていただきます。

すみませんお手元に資料はございませんので、ぜひ前の画面の方を見て、確認していただきたいと思います。

まずは実施概要です。

本キャンプはテーマを自己決定、こどもの自主性を育むとしております。

コンセプトは自分を大切に相手を大切にみんなを大切に、これを同時にしようということをこの後、こどもたちにもこのように話してから活動に取り組むようにしております。

実施内容についてです。

実施内容はグループの旗の作成、たき火、ナイトアウェアネスウォーク、暗闇の中を歩く散歩するような活動になります。

洞窟探検、クラフト、竹トンボづくりでした。

ビバークビバークは、野営ですね、テントを張って自分たちで用意することという活動です。

それから登山とパーティーです。

詳細については、後のスライドで出てきます。

実施期間は本年度7月27日の日曜日から30日水曜日までの3泊4日で行いました。

場所は家族旅行村及びその周辺です。

参加者は市内の小学校の3年生から6年生で29名でした。

30人の定員に対して応募は50弱ぐらいありまして抽選の結果30名に絞っておったのですが、ちょっと直前に1名、体調不良で欠席がありまして、29名で実施をしました。

スタッフは11名で、内訳としましては教育委員会から4人、公設塾minetoから2人、そして委託しておりますエディアクティベーターズからスタッフ5人派遣してもらって行いました。

プログラムの詳細です。

ちょっと字が小さいので次からのスライドで写真を見ながら進めていきたいと思います。

まず1日目、グループの旗を作っている様子、左下の写真です。

それから、たき火、おこし体験を行いました。

2日目です。

2日目は朝から景清洞に行きました。

グループに分かれてグループごとに進んでいきます。

そして右側の写真は午後のテントを張るときのロープワークを学習してい

る様子と、実際にテントを張ったときの写真です。

3日目はテントで起床したらすぐに龍護峰へ登山に行きました。

帰ってきてからお風呂に入って、3日目夜のパーティー、こちらは自分たちで屋台をやってみるってような内容なのですが、屋台を出すための準備をしている様子が右上の写真です。

そして最終日の4日目は、活動のまとめとして、これまで自分たちが作ってきた旗を広げて振り返り活動、そして報告を行いました。

写真を見てみると、特に左上の旗とかも、小さい字でたくさんのが書かれています。活動する中で自分たちが感じたこととか、大切にしたいなって思ったことを、それぞれがちょこちょこメモしていきながら1枚の旗を完成させました。

発表の様子が下段の写真です。

そしてここからは、キャンプ後に保護者対象として実施したアンケートの結果を簡単に説明していきます。

まずは、参加した生徒の小学校ですが概ね大嶺小・美東小がとても多かったです。

次に学年ですが、本年度は3年生4年生がいつもより少し多いかなというようなバランスでした。

6年生がとても少なかったです。

次がキャンプの満足度です。

4段階としておりますが、1、2の評価はいらっしゃいませんでした。

大変満足と満足で100%となっています。

こちらの満足度の理由としましては書いていただいた感想を一部抜粋して載せております。

「日常生活とは違った環境で活動し、こども自身が楽しそうに笑顔で、様々な報告をしてくれた、他の学校の友達や異年齢の子との交流もよかった。」

「迎えに行くと、楽し過ぎて帰るのが寂しいと涙した。」

「帰ってきてからも覚えてきた歌を楽しそうに踊りながら歌い、中学生向けのキャンプもあれば参加したいと本人から言ってきたから。」

それから一番下になりますが、「離れていた期間、私たち親や兄弟も寂しさや息子がいてくれることのありがたさを感じ、お互い成長できたように感じる。」

というような意見もいただきました。

こちらの質問は、来年度もまたお子様を参加させたいと思いますかという質問でした。

「ぜひ参加させたい」が、7割、8割ぐらいであまり参加させたくないという方が1名だけいらっしゃいました。

理由は次のスライドに載っております。

参加、あまり参加させたくない。

おそらく3番目の方、だと思うのですが「親からするとぜひ参加をと思いますが息子に聞くと、テント泊が恐怖で眠れず、もう二度と」というので、という意見をいただきました。

「一番の思い出になったことは確かだ」ということでした。

その他にも様々な意見いただきました。

次は、食事やプログラム、全体のプログラムについてのご意見です。

食事については肯定的なものがほとんどでした。

また歌を歌ったこと、それからテント泊のこと、洞窟や、夜の探検が楽しかった、それぞれのこの準備していたプログラムごとに楽しかったというような意見をいただいています。

最後に、その他の意見や要望をまとめております。

活動の様子をInstagramで発信しました。

インスタを普段から見ている保護者もやはり多くて、「これで見られたことがとてもありがたかった」というようなこと、それからご意見、要望等しては、

「全体の大体のプログラムがもう少し早く分かったとよかった。」

というもの、それから炊飯とかもあればよかったと言うような意見ですが、おそらく野外炊事とかそういう活動のことを指しているのかなと思います。

また最後に、虫刺されが酷かったというような意見もいただきました。

昨年度と比べるとテントに蚊帳を張った分、劇的に改善されたのですが、左上の写真がその様子です。

ビニールシートで屋根と床とは作って、そのビニールシートにカヤを取り付けました。去年は蚊帳がなかったので、凄まじかったのですが、それでもやっぱり刺された子もいました。

寝ている間に足が出ていた子も、たくさんいたので、それもあるかと思います。

そして一番最後に委託先である、株式会社エデュアクティベーターズの報告書から一部抜粋でご紹介させていただきます。

「4日間の変化の様子から参加者それぞれに差異はあるものの、変化が見られたことから、自己決定とコンセプトである「自分を大切に相手を大切にみんなを大切に、これを同時に」については成果を上げられたと考えます。

参加したスタッフは、美祢市の児童に触れる機会が多く、こどもたちが持っている力や可能性に今後も継続的に関わることができることから、今後の美祢市の教育において少なからず影響を与えられると考えます」というような報告書をいただいております。

簡単ですが以上です。

教育長 南 順子

どうもありがとうございました。

今のこの動画から、何かご覧になられまして、委員の皆様方からご意見等が

ありましたらお願いいたします。

井上委員。

委員 井上 敏雄

以前は各地域で子ども会とかで夏にキャンプやったりとかが定番だったのですが、最近はこどもの数も少なくなって途絶えているところも多いので、こういった機会は非常に、いいかなと思います。

思い出したのが今の参加しているスタッフの中に例えば美祢市には子ども会ありますから、子ども会のジュニアリーダーとか、そういった方々の協力を仰いでもいいんじゃないかなと。

子ども会、僕も昔は携わってたんですけど、外れて何年も経つ今の状況はわからないんですけど、

確か昔は各地区単体で子ども会があったが今、市内全域で1つになっていると思うのですが、ジュニアリーダーは中学生中心に今も多分活躍しているはずなので、その子ども会とかジュニアリーダーの協力を仰いで、また来年度も企画を続けていただければありがたいなと思っています。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

今の件につきまして、お願いいたします。

生涯学習スポーツ推進課 野村 一守

御意見ありがとうございました。

今、この会は美祢支部子ども会、美東支部子ども会、秋芳支部子ども会、支部子連ということで3つありますので。

それで、3つが一緒になった美祢市、子ども会連合会というのがあって、美祢市全体であるのですが、その中にジュニアリーダー、しっかり活躍してくれています。

ですので、今のご意見参考にさせていただきまして、今後ジュニアリーダー等の参画等についても検討させていただきたいというふうに思います。

ありがとうございます。

教育長 南 順子

このキャンプの参加の対象は小学生になりますね、だからジュニアリーダーは今、中高校生ですかね。となると、このスタッフとしての参加になるということですね。

ぜひ本当ジュニアリーダーはいろんな面で活躍をしてくれていますので、こういった機会もまた、ジュニアリーダー自身にとってもいい、視野を広げるっ

ていうかこういう活動もあるのだなという、あくまでもこれはこども主体の目的は、自己決定が目的ですので、その辺りについても勉強というか学びになるのではないかなと思います。

はいどうぞ。

生涯学習スポーツ推進課 野村 一守

付け加えて、ジュニアリーダーがいまして、その上じゃないですけどジュニアリーダーをまた指導するといいますか、育成するといいますか、こども会の研修部というのがあります。

この研修部は、比較的若いジュニアリーダー出身者だとかシニアリーダー出身者、こういう子たちがしこりに残ってくれて、ジュニアリーダーの育成等に努めてくれているというところがございます。

スタッフとして関わるということで、ジュニアリーダープラス、研修部の方々にも、スタッフとして関わってもらえたらいいなというところもありますのでこのあたりについては今後、また検討させていただきたいというふうに思います。

ありがとうございます。

教育長 南 順子

皆さんなんかその辺でよろしいですか。

教育創生監 宇野 勇気

すみません。

来年度に関してなんですが、今、当然継続性できるように設計をしている中で、活動の委託先はエデュアクティベーターズという県外の会社をお願いをしているのですが、スタッフ5名、昨年度で3名なのですが、交通費が委託料の中で占める割合っていうのが少なからずあるなっていうところで、やはり現地の人間で回せるっていうのが、予算の最適化の観点では非常に重要かなっていう中で、公設塾minetoにこの事業を引き継いでもらいながら、当然ジュニアリーダーであったり、或いは例えば市の職員であったり、学校の先生であったりというところの協力を仰ぎながら、外にお願いをするというよりは内側で継続できるような、今検討を進めておりますと付け加えさせていただきます。

教育長 南 順子

貴重なご意見いろいろありがとうございました。

何かこのキャンプ全体を通して、ご感想でも結構ですが、教育委員の皆様方から、ありましたらお願いいたします。

どうぞ金子委員さん、

教育長職務代理者 金子 明美

こどもたちが日頃経験することができない、本当に夏休みそして美祢市の自然に中でこそ、出来たというそういう貴重な体験をすることができて、大変良い学びになったのではないかなというふうに思います。

いろいろスタッフの皆さんというか、minetoの方とか、教育委員会の方とか、いろんな方のご支援の賜物だになっていうふうに思っています。

大変お疲れでございました。

ありがとうございました。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

他に何か。

どうぞ。

委員 谷岡 奈美子

2年前にうちのこどもも参加させていただきましてありがとうございました。

すごく、送り出すときはすごく心配していたのですが、3年生だったのもあって、心配していたのですが帰ってきたときに本当にすごく楽しかったって言っているような体験ができたと話していましたので、本当素晴らしいイベントだなと思います。

またぜひ来年も、よろしくお願いします。

委員 松本 孝志

毎年やられたり動画で見たりもしていたので、こどもたちにとってはとてもいい経験になったのではないかなというふうに思います。

僕が一番気になっていたのは、今回は蚊帳を張っておられたというのは、これはいいなと、今までよくあれで寝るなと思っていたので。

本当、蚊にみな刺されて大変だろうなと思っていたので、あれはよかったと思います。

教育創生監 宇野 勇氣

僕もこのキャンプ参加して3回目になりますけど。

文明開化、産業革命以来の衝撃があって、本当に先ほど五ヶ山先生が100倍ぐらいっておっしゃった、本当にそうで、去年とても多く刺されたですが、今年は2、3ヶ所だったので、文字どおり本当に100倍ぐらいのインパクトがあって、ブーンっていう音で夜中何十回も起きたのですが、それがなくて、そんなことでも、やっぱり継続していく中で、本当になんか1個の蚊帳あたり数千円ぐらいのものなのですが、何かこうちょっとずつ、ある意味しなくてもいい挑戦というか、安全と健康が保たれた中での挑戦っていうのに、もう毎年こう

最適化されているなっているのがありますので、例えば水分補給一つとってもこのタイミングで休まないとちょっと過ぎしんどいねっているのが、ノウハウの中に蓄積されているのが、今回も熱中症でリタイアは全くなかったのもこれは毎年ないのですけれど、毎年そのリスクはどんどん減っているなっている、いうふうにはスタッフ側が管理できるようになってきたかなというふうには思っております。

このいい点は引き続き来年以降も続けていけるようにしたいと思っております。

教育長 南 順子

はいありがとうございます。

本当継続する中でいろいろ工夫改善をしながら、さらに良いものをしていくということですが、ちょっと今、急に数多く刺されアレルギーとかになった子どもはいないのですか。

教育創生監 宇野 勇気

実はですねそれは僕がこどもに押しのけられて、一応ですね去年も蚊帳はなかったのですが、テントで覆えるようになってくるまるようにはなっていたのですが、僕のグループのテントが小さくて、僕はもうほぼ半分以上出たので、そうなったっていう状況で、2枚のブルーシートっていう条件は去年と変わらないのですが、ご覧になっていただいてわかるように去年はその壁ごとブルーシートでやらなきゃいけなかったのが、居住空間が狭くなるっていうのが違いで、こどもたちも中にはでも相当、刺された子もいたのですが、アレルギー情報は事前に聞いているので、そういう子に対してはもう事前に他、ちょっと多めにケアをできるようにという体制にはしておりました。

教育長 南 順子

楽しい表情からちょっと伺うことができないいろいろご苦労もあったことは大変ご心配でした。

とにかく無事ですね安全にこどもたちがいい思い出ができたこと本当感謝申し上げます。

こどもキャンプについてはよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それではジオパーク推進課お願いいたします。

神田課長、よろしいですかね。

世界ジオパーク推進課長 神田 高宏

世界ジオパーク推進課からは3件ほどご報告させていただけたらと思います。まずは第11回ユネスコ世界ジオパーク国際会議2025です。

来月、9月5日から12日にかけて、南米チリのカトラクラユネスコ世界ジオパークで開催されるユネスコ世界ジオパーク国際会議にMine秋吉台ジオパークからも職員が参加いたします。

この会議の中で、2025年にユネスコ世界ジオパーク認定申請をした、世界各国の地域を審査するカウンスルが開催されます。

このカウンスルというのは、協議や審議を行い、何かを決定する集団や組織のことです。

このカウンスルで、Mine秋吉台ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定申請の承認、保留、見送りが決まります。

承認の場合は、ユネスコ執行委員会の議事として議題に含むよう勧告され、来年春ごろ、ユネスコ執行委員会で決議されるとユネスコ世界ジオパーク認定が決定いたします。

保留の場合は、申請を保留されまして、改善のため、最長2年間審査期間が延長されます。

申請者は改善点をまとめた報告書を提出し、再度ユネスコ世界ジオパークカウンスルの審査を受け、承認または見送りが決定いたします。

見送りの場合は、申請者は再度申請をする必要があります。

このカウンスルにはMine秋吉台ジオパークの職員もオブザーバーとして参加いたします。

また、この国際会議では、「ジオパークにおける持続可能な取り組みと多様なジオツーリズム」など、それぞれの職員が口頭発表する予定としております。

続きまして(2)の第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会についてご報告いたします。

9月27日、28日に北海道の十勝岳ジオパークで、第15回日本ジオパーク全国大会が、「大地に学び、未来を育む」というテーマで開催されます。

これまでの大会では、市内の中学校の生徒が参加して活動成果を発表していましたが、今回の大会では、美祢青嶺高等学校の生徒3名が参加し、秋吉台の草原の活用について、集まった全国の生徒に向けて発表を行います。

発表の後は、質疑もありますので、生徒たちにとっては非常に良い経験になるものと考えております。

(3)の国際交流員の紹介についてでございます。

今月、8月6日に新たな国際交流員、ベトナム出身のグエン・ハー・ミーさんという女性の方が世界ジオパーク推進課に着任されました。

ミーさんは、ベトナム語、英語、日本語の3ヶ国語を話すことができます。

Mine秋吉台ジオパークはベトナムのドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークと連携協定を結んでおりまして、今後ベトナムとの交流や共同のイベントなどの連絡調整やカルスターでの案内業務を行ってもらうこととしております。

世界ジオパーク推進課からは以上です。

教育長 南 順子

はい。

3点報告がございましたが教育委員の皆様から何かご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

本当のユネスコ、すみませんと国際会議がチリでは開催されるということですが、ぜひ本当に今、神田課長をリーダーシップとして、職員一同と、そしてガイドということで谷岡さんも本当に皆さん頑張ってくられましたので結果、報告を本当に心待ちしております。

よろしいでしょうか。

7 教育委員からの提案及び意見

教育長 南 順子

それでは他に全体を通じて何か教育委員の皆様方の方から提案とか、またご意見がありましたら、お願いできたらと思います。

よろしゅうございますでしょうか。

一件ちょっと私忘れていましたが、もう画像が変わっていますが、minetoのキャンプの件については、MYTで確か前半・後半で、今日が前半でしたかね。

確かダイジェストじゃなくって、火曜と木曜日でしたかね。

MYTの放送のときに、この前ユネスコ現地審査があったときと同じように、分かれているってあると思いますのでよろしかったらぜひご覧になっていただけたらと思います。

他にございませんでしょうか。

はい、それでは大変いろいろ貴重なご意見ありがとうございました。

事務局の方にお返ししたいと思います。

8 次回の教育委員会会議の開催予定

教育総務課長 田中 美香

お疲れ様でした。

来月、9月の教育委員会会議ですが、9月の29日の月曜日、13時30分から、この301号会議室で行いたいと思っておりますけれども、ご都合の方はよろしいでしょうか。

<全員了承>

閉会

教育総務課長 田中 美香

ありがとうございます。

今後の予定につきまして今年中の予定はそこに書いてありますが12月はちょっと議会の日程により変更の可能性もありますので、その場合には早めにお知らせをいたします。

先月の教育委員会会議終了後に、適正規模・適正配置についてお話を少しさせていただいたのですが、ちょっと宿題をいただきましたので、そちらの方ちょっとまた後程、終わった後に少しお時間をいただいて、お話をさせていただければと思いますので、若干、お残りいただけると助かります。

では以上をもちまして、8月の教育委員会会議を終わりたいと思います。

お疲れ様でした。

ありがとうございました。

(午後2時50分終了)

令和 年 月 日

教育長

委 員

委 員

会議録作成